



2026 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 A p p B a n k 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 石 充 三

(コード番号：6177 東証グロース)

問 合 せ 先 管 理 部 長 渡 邊 泰 弘

(TEL. 03-6302-0561)

複数エンターテインメントイベントにおける
ZAIKO を用いたチケットティングサービス導入支援のお知らせ

ーチケット販売を起点に、グッズ制作・StanShot・スポンサー獲得など
当社支援による IP のマルチマネタイズを推進ー

当社は、2026 年 6 月 11 日付「ZAIKO 株式会社とのエンターテインメント業界のイベント価値最大化に向けた協業開始のお知らせ」でお伝えいたしましたとおり、電子チケット販売プラットフォーム等を提供する ZAIKO 株式会社（以下、「ZAIKO」という。）との間で、イベント主催者およびクリエイターの支援を目的とした協業を開始しております。

このたび、音楽イベントからファンミーティング、テーマ型フェスに至る、複数のエンターテインメントイベントにおいて、ZAIKO が提供する電子チケットプラットフォーム上でのチケットティングサービスの導入支援を並行して実施いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本導入支援の背景と目的（チケットティングを起点としたマルチマネタイズ戦略）

当社は、ZAIKO との協業による電子チケットプラットフォームの導入支援を推進しております。当社の狙いは、単なるチケット販売の DX 化や運営支援にとどまりません。

チケットティングの取り扱いを起点（顧客接点）とすることで、当社 IP&コマース事業が有する多様なソリューションを連動させ、イベントに関わる複数の収益化施策を同時展開し、当該イベントの収益を最大化することを目的としております。

具体的には、対象イベントに対して以下のソリューションを複合的に提供してまいります。

- ・オリジナルグッズの制作・販売（子会社 musica lab 等を通じた企画・製造）
- ・提携サービス「StanShot」の導入（イベント画像を活用したファン向けプリントサービスの展開）
- ・協賛スポンサーの獲得支援（当社の広告・企業ネットワークを活用したマッチング）
- ・マーケットプレイスの運営（自社 EC 網やデジタルクジ等のオンライン販売展開）
- ・ポップアップストア施策の推進（イベント IP に関するポップアップストア販売展開）

これらの施策をワンストップで提供することにより、主催者およびクリエイターの収益機会を最大化すると同時に、当社自身の収益獲得と利益率の向上を図ります。

2. 対象イベントの概要（現在チケット販売中の主な支援案件）

今回、ZAIKO チケットティングシステムの導入を起点に、複合的な収益化支援を見据えて当社が参画するイベントは以下となります。

（1）上村謙信 ファンミーティング

俳優・アーティストとして活躍する上村謙信氏のファンミーティングイベント。

チケット販売 URL :

<https://kamimurakenshin-fm-kokokara.zaiko.io/ja/e/kenshinkamimura>

（2）屋上アニソン DJ イベント『Anisong Scramble』第 14 弾

DJ 和氏プロデュースによる、渋谷スクランブル交差点を眼下に臨む屋上空間での大人気アニソン DJ イベント。

チケット販売 URL : <https://anisong-scramble.zaiko.io/ja/e/no-14>

（3）ZOMBIE FES（ゾンビフェス）

非日常体験を提供するテーマ型のフェスティバルイベント。

チケット販売 URL : <https://zombiefes.zaiko.io/ja>

3. 今後の展開

当社は、今後も ZAIKO プラットフォームへの送客とチケットティング支援を強力なフックとして活用し、コンサート、フェス、ファンミーティングなどあらゆるエンターテインメントイベントにおいて、当社の「グッズ制作」「StanShot」「スポンサー獲得」「マーケットプレイス運営」を包括的に提供するマルチマネタイズモデルを加速させてまいります。

4. 当社の概要とお問い合わせ先

【当社の概要】

会社名：AppBank 株式会社

所在地：東京都新宿区新宿 1-19-10

代表者：代表取締役社長 白石 充三

事業内容：IP&コマース事業、メディア事業、AX/DX 事業

URL : <https://www.appbank.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

AppBank 株式会社 広報担当 : info@appbank.net

5. 今後の見通し

今後も、当社独自の展開及び資本業務提携先との協業等を通じて、多くの取り組みを進めていく方針です。なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微であります。

以上